図書館だより

H 30 夏

～　読書感想文を書こう！　～

　読書感想文は苦手という人が多いようですが、夏休みは読書をする時間がたっぷりとれます。この機会に読書感想文にも挑戦してみましょう。読んだ本の中で一番心に残った本について、どんなところが心に残ったのか、それはどうしてなのか、考えたことを友達やお家の人、先生におしゃべりするつもりで書いてみましょう。どの本で書いたらよいか分からないときは、コンクールの課題図書からえらぶといいですね。

読書感想文の書き方のヒント

**　これぞ！という本を見つけ、楽しく読みましょう。自分にぴったりの感動する本を選ぶことが大事です。そして、読書感想文の書き方のヒントを参考に書いてみましょう。**

書き出し

書き出しは、なかなか大切。次の5つの方法からやってみましょう。

① 登場人物に呼びかける形から、書き始める。
② 自分が一番言いたいことをきっぱりと言うことから書き始める。
③ この本を選んだわけから、書き始める
④ 文中で、一番心に残った文を抜き出して、書き始める。
⑤ その本の作者について知っていることなどから、書き始める。

なか

書き出しが決まったら、次に内容をふくらませましょう。
ふくらませ方は、次の点を参考にしてみましょう。

① 本との出会いについて書く。
② 自分と主人公を比べてみたり、身の回りの人と比べたりしてみる。
③ おおよそのあらすじも必要に応じて入れる。
④ 本のテーマについて、家の人など誰かと話し合ったことなどを書く。
⑤ 自分の体験を入れてみる。
⑥ テレビや新聞で話題になっていることと関連づけて書く。
⑦ 本を読んで、自分がどのように変わったか書くようにする。
⑧ 同じ作者の作品や同じテーマをもった作品と比べてみる。
⑨ 絵についての感想を書いてみる。

むすび

本を読んで一番心に感じたこと、これからの自分の生き方に役立てたいこと（これから自分はどうしたいか、どんなふうになりたいか）など自分の気持ちをかざらず、すなおに書きましょう。

以上、「感想文かけちゃった！」水野寿美子著　旺文社より

★なかなか考えがまとまらなくて書き始められない人は、書く前にその本について、誰かとおしゃべりをしてみましょう。おしゃべりの中で思いついたことをメモしておくと、話すことで考えが深まるので感想文を書くときに役立ちます。

★感想文を提出するときには、応募票に必要なことを書いて、切り取り、作品の上にはって出しましょう。